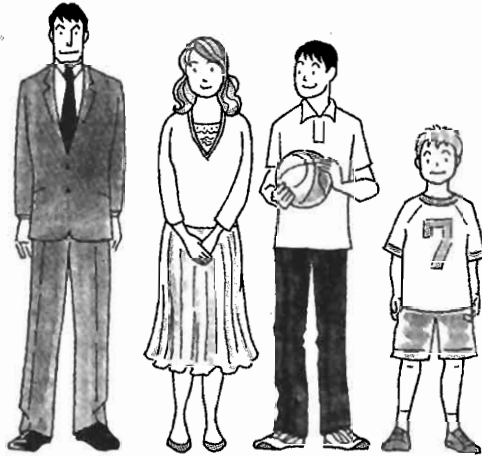


主な登場人物

cast



もり けんたろう
森 健太郎

43歳。日本の広告代理店、JC企画の上海支社長。本社勤務時代の同僚の小野緑と結婚。

みどり
森 緑

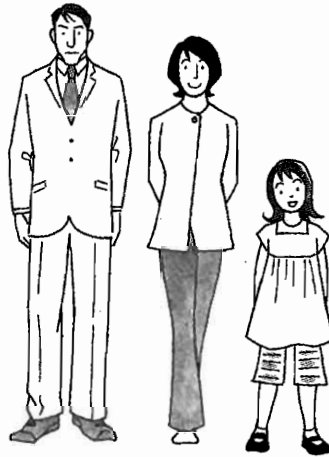
42歳。旧姓小野。上海で日本語教師として働く。李秀麗はJC企画時代の同僚。

てつぺい
森 徹平

14歳。森家の長男。上海の日本人学校に通う。中学2年生。バスケットボールが得意。

えいじ
森 瑛士

10歳。森家の次男。上海の日本人学校に通う。小学5年生。森家のムードメーカー。



さとう こういち
佐藤 光一

41歳。竜虎酒造本社海外事業部本部長。上海事務所時代に知り合った李秀麗と結婚。

しゅうれい
佐藤 秀麗

40歳。旧姓李。日本で小さなコンサルティング会社を営む。森家とはずっと交流を続けている。

のぞみ
佐藤 望

7歳。佐藤家の長女。小学1年生。明るくて、とても活発。音楽と動物が大好き。

老いてますます盛ん

上海、森家。森の両親が2週間の滞在予定で中国を訪れている。休日、健太郎と緑が両親を連れて上海市内を観光する。その帰り道で。

森の父：いやあ、上海博物館はすごい。見ごたえがあったなあ。

森の母：そうですねえ。ほんと、すばらしかったわ。

健太郎：親父は昔から、景德鎮とか書とか、好きだったもんなあ。

緑：でも、お義父さんとうも、お義母さんかあも、1日中立ちっぱなしで、疲れたんじゃないですか。

森の母：あら、わたしはまだまだ歩けそうよ。

緑：お義母さんかあ、体力ありますねえ。

森の母：まあね。最近毎日スイミングクラブに通ってるから。体力には自信あるのよ。

緑：そうなんですか。

森の母：お父さんは最近ね、あれよ。「そば打ち」。

緑：えっ？

森の母：地域に「そば打ちサークル」っていうのがあってね、すっかりそば打ちにはまってるの。

緑：へえ。

森の母：定年まで台所に立ったこともなかったのに、今じゃあ、お昼ご飯はたいてい、お父さんの打ったそばなのよ。信じられないわ。

森の父：信じられないってことないだろう。それに、最近はね、器にもこだわってるんだよ。

緑：いいですねえ。

森の父：今度帰国したら、緑さんにも打ちたてをごちそうするよ。

緑：楽しみにしています。

健太郎：そうそう、明日は？どうするつもり？

森の母：明日は、お父さんと2人で外灘を見物するわ。だから、お構いなく。

健太郎：大丈夫かよ。

森の母：何言ってるの。いつも2人で海外旅行してるんだから。大丈夫よ。



新出語彙1

おいる (老いる) [动2自] 老, 年老
シャンハイはくぶつかん (上海博物館) [专] 上海博物館
みごたえ (見ごたえ) [名] 观赏价值
けいどくちん (景徳鎮) [专] 景徳鎮
しょ (書) [名] 书法
おどうさん (お義父さん) [名] 公公, 岳父
スイミンググラブ [名] 游泳俱乐部
そぼうち (そば打ち) [名] 手擀荞麦面条
はまる [动1自] 上心, 热中; 陷入, 掉进
うつわ (器) [名] 器皿, 器具

おいてますますさかん (老いてますます盛ん)

老当益壮, “老いてますます盛んなるべし” 的缩略形式

たちっばなし (立ちっばなし) 一直没坐下, 一直站着

うちたて (打ちたて) 现擀, 刚擀好

おかまいなく (お構いなく) 不张罗, 别费事



父母与孩子配偶之间的对话

虽说是家人之间的对话, 但对自己的父母和爱人的父母, 措辞自然不同。健太郎对自己的父母, 说“親父は昔から、景徳鎮とか書とか、好きだったもんなあ。”“どうするつもり?” “大丈夫かよ。”用了相对较随便的说法。而绿面对健太郎的父母则用礼貌的说法。换个角度看, 也许会给人见外的感觉, 但这种情况下是绿为了对公婆表示敬意, 在他们这种关系中, 这样的措辞是很一般的。

另外, 健太郎的父亲说“今度帰国したら、緑さんにも打ちたてをごちそうするよ。”, 称呼绿为“緑さん”。在岳父母对女婿、公婆对儿媳的关系中, 前者称呼后者时加上“~さん”也并不少见。

いえ、これまでに培った経験をいかになく発揮できて、とてもやりがいを感じています。今でも若いスタッフとともに働きながら、自分の経験を伝えていける職場があるだけで、こんなうれしいことはありません。

現役時代は、中間管理職としての責任が肩に重くのしかかり、毎日残業することも当たり前でしたが、今は、気持ちにも時間にも、とてもゆとりがあります。考えようによっては、現役のころより充実した毎日を送っているといえるかもしれません。でも、「再雇用」は、あと1年だけで終わりにしようと思っっています。そろそろ、読書三昧の日々もいかなと思いはじめています。

趣味が高じて

自営業 加山新司

(埼玉県所沢市 65)

昨年、そば好きが高じて手打ちそ

ですが、でも、「妻の作品です」と答えるのは、まんざら悪い気もしません。ただ、妻からは、「器に合ったおそばを打って」と注文が入りますが。

わたしは地方公務員でしたが、勤め始めて間もないころから、昼飯はいつも役所の近くのそば屋でした。休日ともなると、1日に4、5軒も食べ歩いていました。そんなある日、長野県の安曇野で出会ったそばに魅了され、「食べ歩きだけにしておけば」という妻の忠告をよそに、住み込みで修業までするに至ったのです。趣味が高じて始めたそば屋ですが、器に合ったそば打ちに日々腕を磨いています。

自然に任せ、環境に合わせて

無職 松下綾

(千葉県鴨川市 58)

起床は朝4時。顔を洗い、作業服に着替えて畑に出る。夜明け前の畑

だ。野菜作りにかける手間はおろか、早起きも全く苦にならない。朝は自然に目が覚める。朝食もおいしい。以前は、朝食を抜くことが多かった夫だが、今では考えられないと言っている。ご飯にみそ汁、漬物と納豆。それに取れたてのトマトとキュウリ。適度な労働の後の食事は、おかずなど少なくともかまわない。

今は、自然に任せ、環境に合わせて毎日を過ごしている。これが、人間本来の生き方であると思えてならない。定年退職した夫が言い出して仕方なしについてきたわたしが、今ではすっかりこの生活が気に入っている。

投稿募集

本文500字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、中新聞本社「投稿」係へ。匿名、二重投稿はご遠慮ください。

2012年（平成24年）8月21日（火）

特集

第2の人生

やりがいを感じて

会社員 岡田節子

（東京都世田谷区 62）

メーカーに勤めていたわたしは、2年前に定年を迎えました。しかし、そのまま会社に残り、今でも仕事を続けています。わたしの会社では、2006年から、定年を迎えた社員も、給料は下がるが65歳まで継続して働けるという制度を導入しました。いわゆる「再雇用制度」で、契約は1年ごとです。わたしも、この制度を利用して2年目になります。定年時は製品管理の部長でしたが、今は、嘱託として、新人の指導係をしています。現役を退いたとは

ばの店を出しました。住宅街にある、拙宅を改装した、5人で満席になる

ような小さな店です。お客さんは、毎日、平均2、3人。開店休業という日もありますが、ロコミだけなのだから仕方ありません。でも、わたしは満足です。たとえ1人だけでも、わたしが打ったそばを食べに来てくれる人がいれば。

店は、わたし1人で切り盛りしています。妻は陶芸が趣味で、20年以上も続けています。店で使う器はすべて妻の作品です。お客さんの中には、そばよりも器を気に入って、だれが作ったのか尋ねる方もいらっしやいます。正直ちょっと寂しいで

は人影もなく、空気が澄んでいて

清々しい。今は、市場に出荷するトマトとキュウリの栽培に精を出している。収穫は多くはない。夫と2人暮らしなので、自分たちで食べる分を除いて出荷している。天候に左右されることはあるが、野菜は手をかければきちんと期待に込えてくれる。だから、手抜きなどできない。

トマトが朝日を浴びてみずみずしく輝いている様を見ると、なんとも言えぬ充実感に満たされる。

3年前に東京から移り住んで、畑を借りて野菜を作り始めた。土に触れることはとても健康にいい。まるで土から“気”をもらっているよう

新出語彙2

とくしゅう (特集) [名] 专刊, 专辑

せつこ (節子) [专] 节子

メーカー [名] 厂商, 制造商

こよう (雇用) [名・サ変他] 雇佣, 雇用

げんえき (現役) [名]

(职场上的) 第一线, 现役, 应届

しりぞく (退く) [动1自] 退职, 离开; 倒退

いかななく [副] 充分, 完全

はつきする (發揮~) [名・サ変他] 发挥, 施展

ちゅうかん (中間) [名] 中间

かんりしよく (管理職) [名]

管理人员, 管理岗位

ちゅうかんばんかんりしよく (中間管理職) [名]

中层管理者

のしかかる [动1自] 压在……上

ゆとり [名] 忧裕, 宽裕, 余地

こうじる (高じる) [动2自]

加甚; 加重; 剧烈化

じえいぎょう (自営業) [名] 个体营业者

かやま (加山) [专] 加山

ところざわ (所沢) [专] 所泽

てうち (手打ち) [名]

手工做 (面条); (拍手)成交

じゅうたくがいの (住宅街) [名] 住宅区

せったく (拙宅) [名] 寒舍, 舍间

まんせき (満席) [名] 满客, 满席

かいてんきゅうぎょう (開店休業) [名]

开门停业, 一整天没客人上门

たとえ [副] 即使; 哪怕

きりもり (切り盛り) [名・サ変他]

打理, 处理, 料理

とうげい (陶芸) [名] 陶艺

まんざら [副] (并非)完全, (未必)一定

ひるめし (昼飯) [名] 中午饭, 午餐

やくしょ (役所) [名] 公署, 政府机关, 官署

たべあるく (食べ歩く) [动1他] 各处品尝

あづみの (安曇野) [专] 安曇野

みりょうする (魅了~) [名・サ変他]

使……入迷, 夺人魂魄

ちゅうこく (忠告) [名・サ変他] 忠告, 劝告

すみこみ (住み込み) [名] 住宿学徒, 住宿佣工

しゅぎょう (修業) [名・サ変他]

修炼, 修业, 学习技术

むしよく (無職) [名] 无职业者, 无职业

まつしたあや (松下綾) [专] 松下綾

かもがわ (鴨川) [专] 鸭川

さぎょうふく (作業服) [名] 工作服

よあけ (夜明け) [名] 黎明, 拂晓

ひとかげ (人影) [名] 人影

すがすがしい (清々しい) [形1] 清爽

いちば (市場) [名] 市场, 集市

せい (精) [名] 精力, 劲头

てぬき (手抜き) [名] 偷工减料

あさひ (朝日) [名] 朝阳

みずみずしい [形1] 水灵, 娇嫩

さま (様) [名] 样子, 状态

なんとも [副] 怎么也, 什么也

みたす (満たす) [动1他] 充满, 填充

うつりすむ (移り住む) [动1自] 移居, 搬家

てきど (適度) [名・形2] 适度

とれたて (取れたて) 新摘, 刚摘

しかたなしに (仕方なしに) 无可奈何

わるいきがしない (悪い気がしない)

不觉得难受

ちゅうもんがはいる (注文が入る)

(有人) 提出要求

うでをみがく (腕を磨く) 磨练本领

せいをだす (精を出す) 坚持工作, 努力干活

てをかける (手をかける) 精心照料

てまをかける (手間をかける) 搭功夫, 费事

くになる (苦になる) 感到负担, 伤脑筋, 苦恼

~三昧 聚精会神, 破除杂念

解説

1. 课文特点 [读者来信]

本课安排的是读者来信类的文章，选取了三篇向报社投稿的读者来信作为范文。

日本的报纸上设置了刊登读者意见的读者来信专栏。各个报社的读者来信专栏都有独特的名称。例如，四大报社分别有“気流（气流）”<読売新聞（读卖新闻）>、“声（呼声）”<朝日新聞（朝日新闻）>、“みんなの広場（大家论坛）”<毎日新聞（每日新闻）>“談話室（谈话室）”<産経新聞（产经新闻）>（根据2011年资料）。这些专栏，晨报几乎每天都刊载，但也有时星期一休刊。刊登的来信数量根据报社及日期而不同，大致5～8篇。内容涉及许多方面，以社会、生活相关问题为主，还涉及政治、福利、保健、教育、国际问题等诸多方面。有时也会组织专题投稿，如“环境问题”“高龄化问题”等。各报社读者来信栏版面的角落里，都登载有投稿的相关信息。投稿字数每篇在400～600字之间，原则上必须署实名。对于文体则没有特别规定，简体或敬体都可以。

另外，本课课文的场景设置是对“特集 第2の人生（专刊 人生第二春）”的投稿，并结合报纸的实际版面，采用了竖排的方式。

■現役を退いた₂とはいえ、これまでに培った経験を₃いかに₄発揮できて、とてもやりがいを感じています。

2. ～とはいえ～ [书面语]

“～とはいえ～”用于在承认前述事项的同时，叙述与之相反的事项。相当于汉语的“虽说……但是……”。“とはいえ”除了可以用于前句的最后以连接后句之外，还可以单独用于句首。用于前句的最后时，谓语句用简体形接续。

▶ この会社は小さいとはいえ、その製品の名前は世界的に知られている。

（这家公司虽说很小，但其产品却闻名世界。）

▶ ここは歴史的な遺跡があり、温泉もあって、日本では有名な観光地である。とはいえ、最近ここを訪れる人はかつてほど多くない。（这里有历史遗迹，也有温泉，是日本著名的观光胜地。虽然如此，但最近造访这里的人不如以前多了。）

“～とはいものもの～”（□中级第29课）也与“～とはいえ～”含义相同。两者都用于书面语，但比较起来，“～とはいものもの～”书面语色彩更浓一些。

▶ 試験の準備は十分にしたとはいものもの、試験の前日は心配でなかなか眠れなかった。（虽说考试前的准备已经非常充分了，但考试的前一天仍很担心，难以入眠。）

▶ 計算は何度も検算をして確かめた。とはいものもの、絶対に間違いがないかと言われれば自信がない。（这个计算已经验算了很多次了。虽然如此，也不敢说绝对没错。）

3. いかに

“いかに”意思是“把一切毫无保留地”。多用“～をいかに発揮する（发挥得淋漓尽致）”的形式与动词“発揮する”一起使用。“～”部分多是“能力”“才能”“経

けん
験”等名词。

- ▶ 彼は、その才能をいかに⁴発揮してすばらしい作品を作り上げた。
(他充分发挥了自己的才能, 创作出了精彩的作品。)
- ▶ 我が社で、皆さんのこれまでの経験⁴をいかに⁴発揮していただきたいと思います。
(公司希望大家能把过去积累的经验毫无保留地发挥出来。)

■今でも若いスタッフとともに働きながら、自分の経験を伝えていける職場があるだけで、4こんなうれしい4ことはありません。

4. こんな(に)～ことはない

“こんな(に)～ことはない”表示程度非常高, 相当于“没有比……再……的了”。

“～”的部分, 一般用表示情感的一类形容词、二类形容词以及动词。

- ▶ 希望していた会社に就職できて、こんなうれしいことはありません。
(能够在自己想进的公司就职, 真是太高兴了。)
- ▶ 試合の直前になってけがをして試合に出ることができず、こんな残念なことはありません。(即将比赛之前我却因伤而不能参赛, 没有比这更遗憾的了。)
- ▶ 一生懸命働いてためたお金をだまし取られてしまい、こんなに腹が立つことはありません。(拼命工作攒下的钱被人骗走了, 真是气死我了。)

■考えようによっては、現役のころより充実した毎日を送っているといえるかもしれない。

5. ～ようによっては

“～ようによっては”的“よう”接在“动词ます形去掉‘ます’”的形式后, 在动词表示的动作及变化方面, 有两个意思: ①方法, ②样子。课文中的“よう”是①的用法, 所以, “考えようによっては”意思是“如果改变思考角度的话”。

- ▶ やりようによっては、今より短い時間で製品を作ることができるかもしれない。〔①〕
(如果改变做法的话, 也许可以用比现在更短的时间制作产品。)
- ▶ この絵は、見ようによっては、子供がかいた絵のように見えるかもしれない。〔①〕
(这幅画如果换一个标准来看的话, 可以说像是孩子画的。)
- ▶ 車の壊れようによっては、部品交換だけでは直らないらしい。〔②〕
(据说根据车子的损坏情形, 看来只换零部件是修不好的。)

■そろそろ、読書。三昧の日々もいいかなと思ひ始めています。

6. ～^{ざんまい}三昧

“^{ざんまい}三昧”前接名词, 相当于汉语的①“专心……”, ②“尽情……”。这种“专心”的用法一般用于专注于诸如“^{どくしょざんまい}読書三昧(专心读书)”等兴趣爱好, 而不用于工作、学习等社会性行为。

▶ 正月休みはゲーム三昧だった。〔①〕（年假期间光玩游戏了。）

▶ 彼は親の遺産でぜいたく三昧の暮らしをしている。〔②〕

（他用父母的遗产过着极尽奢华的生活。）

×年末は休みもなく、仕事三昧だった。

■住宅街にある、拙宅を改装した、5人で満席になるような小さな店です。

7. 拙宅 [书面语]

“拙宅（寒舍）”是说话人说起自己家时的自谦说法。用“拙～”谦称自己物品的词语不多。除“拙宅”之外还有“拙著（拙著）”。

▶ 詳しいことは拙著をご覧ください。（详细内容请看拙著。）

说话人谦称自己物品的说法，还有“愚～”“小～”“弊～”（□中级第18课）。分别举例如下：

愚～	愚息（犬子）	愚妻（拙荆）	愚考（愚见，拙见）
小～	小社（敝公司）	小店（小店）	小著（拙作） 小文（拙文）
弊～	弊社（敝公司）	弊店（小店）	弊誌（敝刊）

这种用法有和汉语相同的地方，但也有“敝姓”一类只在汉语中使用而日语中没有的。

■。わたしは満足です。たとえ1人、だけでも、わたしが打ったそばを食べに来てくれる人がいれば。

8. 倒装句①

日语中有先描述自己的心情，之后再叙述其根据或条件的方法。这是一种倒装，有表示强调的含义。课文中将本应是“たとえ1人だけでも、わたしが打ったそばを食べに来てくれる人がいれば、わたしは満足です。”中的“わたしは満足です。”放到了前面。

▶ これから寂しくなるね。娘が結婚して家を出て行ってしまうと。

（这以后会冷清的啊，女儿出嫁离开家的话。）

▶ 温泉に行つてのんびりしたい。もし休みが取れば。

（我很想去温泉逍遥几天，如果能请得下假来的话。）

9. たとえ～だけでも～

“たとえ”与“～ても／～でも”连用，表示“即使……也……”。课文中的例句可以去掉“だけ”，成为“たとえ1人でも，～”的形式。“だけ”表示限定，强调只有最少人数的“1人”。

▶ たとえ1回だけでも、地震を想定した防災訓練に参加しておけば、実際に地震が起きた時に落ち着いて行動できると思います。（即使只有一次，如果参加过针对地震的防灾训练，那么就能在实际发生地震时冷静地行动。）

▶ たとえ値段が安くても、品質が悪ければ買う人は少ないだろう。

（即便价格便宜，如果质量差的话买的人也不会多吧。）

■勤め始め¹⁰ て間もないころから、昼飯はいつも役所の近くのそば屋でした。

10. ～て間もない [书面语]

“間もない”相当于汉语的“不久”，接在动词て形后，用于修饰它后面的名词。

▶ この会社は、年号が平成に変わって間もない1989年1月20日に設立された。

(这家公司是在年号改为平成之后不久的1989年1月20日成立的。)

相关表达有“間もなく”(□□初级第18课)。作为口语也用于广播、通知等郑重情况下的公共场合。日常口语一般用“もうすぐ”。

▶ 当機は間もなく離陸いたします。(本次航班即将起飞。)

▶ 部長は間もなく参りますので、しばらくお待ちください。(部长马上就来，请稍等。)

■休日¹¹ ともなると、1日に4、5軒も食べ歩いていました。

11. ～ともなると、～ [书面语]

“名词+ともなると～”表示时间或人、物处于区别于其他的特别状态。

▶ 一国の大臣ともなると、言動には注意しなければならない。

(作为一国的行政高官，就必须注意自己的言行。)

▶ 世界遺産ともなると、壊れても勝手に修理することはできない。

(既然是世界遗产，就算有所损坏也不能随便修理。)

■「食べ歩きだけにしてあげば」という妻の忠告¹² をよそに、住み込みで修業までするに至ったのです。

12. ～をよそに、～ [书面语]

“～をよそに”意思相当于汉语的“不顾……”。

▶ 親の心配をよそに、うちの息子は就職もせずにぶらぶらしている。

(我儿子也不管爹妈有多着急，工作也不找，整天游手好闲的。)

▶ 国民の批判をよそに、首相は内閣改造を断行した。

(首相不顾国民的批判，断然改组了内阁。)

■野菜作りにかける手間¹³ はおろか、早起きも全く¹⁴ 苦にならない。

13. ～はおろか、～

“～はおろか”意思是“不用说的事情”“当然的事情”。

▶ わたしの部屋にはエアコンはおろか、扇風機もない。

(我的房间别说是空调了，连电扇都没有。)

▶ 彼は英語はおろか、フランス語もドイツ語も話せる。

(不用说英语了，法语和德语他也会说。)

“～はおろか”是强调后项事情程度的表达方式，因此不用于论文等客观性的文章。客观性的文章用“～は言うまでもなく”(□□中级第29课)、“～はもちろん(のこと)”(□□中

級第25課)等。

- ▶ 病院や学校は言うまでもなく、レストランや喫茶店でも禁煙にするところが増えて
いる。(医院、学校自不必说，禁烟的西餐馆和咖啡店也在增加。)
- ▶ 大学では、専門的な知識はもちろんのこと、幅広い知識を身に付けることが必要で
ある。(在大学，专业知识就不用说了，还需要掌握广泛的知识。)

14. ～が苦になる／～を苦にする

“苦”相当于汉语的“苦恼”。“なる”是自动词，“する”是他动词，多用“～が苦になる”“～を苦にする”的形式。“～が苦になる”意思是“感到负担”，“～を苦にする”意思是“为……而苦恼”。

- ▶ オリンピックに出場したいという夢があるので、毎日の厳しい練習も全く苦にならない。
(因有参加奥运会的梦想，所以每天的严格训练也全然不觉其苦。)
- ▶ 医師である彼は、昔病気になった友人を助けられなかったことを今でも苦にしている。
(作为医生的他，至今仍在为以前没能救活生病的朋友而感到痛苦。)

■適度な労働の後の食事は、おかずなど少なく、15. てもかまわない。

15. ～てもかまわない

“かまわない”是动词“かまう”的“ない形”，多用“～てもかまわない”“～にかまわず～”的形式。“～てもかまわない”与“～てもいい”(□□初级第15课)意义大致相同，比“～てもいい”略显正式。“～にかまわず～”相当于汉语的“别管……”。

- ▶ この絵を手に入れることができるなら、お金はいくらかかってもかまわない。
(这幅画如果能到手的话，花多少钱都没关系。)
- ▶ わたしにかまわず先に行ってください。(别管我，你们先去。)

■これが、人間本来の生き方であると思え、16. てならない。

16. ～てならない [书面语]

“～てならない”意思是“那种情绪不可抑制”，接在表示自发意义的动词及表示情感的一类形容词和二类形容词的て形后。

- ▶ 試験の結果が気になってならない。(心里非常惦记着考试的结果。)
- ▶ 孫がかわいくてならない。(孙子可爱得不得了。)
- ▶ 留学している娘のことが心配でならない。(对正在留学的女儿担心得厉害。)

与“～てならない”意思相同的还有“～てたまらない”“～て仕方がない”(□□中级第32课)、“～てしょうがない”(□□中级第32课)。其中，“～てしょうがない”是较为随便的口语表达方式。

- ▶ 恋人に会いたくてたまらない。(非常想见恋人。)
- ▶ 腹が立って仕方がない。(气得不得了。)
- ▶ 背中がかゆくてしょうがない。(后背痒得受不了。)

另外，类似的强调表达还有“～てやまない”，但前接动词与上述“～てならない”等

不同，多用“願う”“信じる”等表示意志的动词。

- ▶ この計画が実現することを願ってやまない。(由衷地祝愿这个计划能够实现。)
- ▶ 実験が成功することを信じてやまない。(我坚信实验能够成功。)



関連語彙

「～しい」の形の言葉

●^{いた}痛々しい(过于可怜而不忍直视)

- ▶ 彼は事故に遭って、幸い一命を取り留めたが、背中には痛々しい大きな傷跡が残っている。(他遭遇了事故，虽侥幸捡了一条命，但后背上留下了一条惨不忍睹的伤痕。)

●いまいましい(令人气恼；懊丧)

- ▶ 取り引き先とはいえ、自分の子供と同じくらいの年齢のやつに頭を下げなければならないなんて、本当にいまいましい。

(虽说是客户，但是不得不向跟自己儿子差不多大的人低头，还是让人气恼。)

●^{ういうい}初々しい(纯真)

- ▶ 新入社員のスーツ姿はとても初々しい。(新员工穿着西装的样子十分纯真可爱。)

●けばけばしい(花哨的)

- ▶ 役所や銀行などの職場では、女性職員がけばけばしい化粧をしていると、上司に注意される。(在政府机关或银行等工作场所，如果女性职员浓妆艳抹，会受到上司批评。)

●^{しらじら}白々しい(①装傻充愣；②可轻易识破的)

- ▶ こちらからあいさつしたのに、白々しい態度で無視された。〔①〕
(我主动去跟他打招呼，却被他爱答不理的。)

- ▶ 彼は失敗のたびに白々しい言い訳をする。〔②〕
(每当他做错了事都会用露骨的谎话来掩饰。)

●^{ずうずう}図々しい(脸皮厚)

- ▶ 順番待ちの列に割り込んでくるとは図々しい。
(大家在这里排队，那人却硬挤进来，真是脸皮厚。)

●よそよそしい(疏远，冷淡)

- ▶ 就職してから、彼女の態度が急によそよそしくなった。
(找到工作以后，她对我突然变得冷淡起来。)

新出語彙 3

けんざん (検算) [名・サ変他] 验算, 核对
 だます [动1他] 欺骗
 だましどる (だまし取る) [动1他] 骗取
 なおる (直る) [动1自] 修好; 改正过来; 复原
 いさん (遺産) [名] 遗产
 ぜっちょ (拙著) [名] 拙著
 ぐそく (愚息) [名] 犬子
 ぐさい (愚妻) [名] 拙荆, 贱内
 ぐこう (愚考) [名・サ变自他] 愚见, 拙见
 ししょうてん (小店) [名] 小店
 ししょうちよ (小著) [名] 拙作, 小作
 しょうぶん (小文) [名] 拙文, 小文
 へいてん (弊店) [名] 小店, 敝店
 へいし (弊誌) [名] 敝刊
 どうき (当機) [名] 本航班
 りりくする (離陸～) [名・サ变自] 起飞
 いっこく (一国) [名] 一国
 げんどう (言動) [名] 言行
 ないかく (内閣) [名] 内阁
 だんこうする (断行～) [名・サ变他] 断然实行
 かまう [动1他] 管, 顾, 介意

はらがたつ (腹が立つ) 生气

愚～ 拙～, 愚～

小～ 小～, 敝～

1. 本文を読んで以下の質問に答えなさい。

- (1) 本文の内容に合っていれば○を、そうでなければ×を付けなさい。
- ① 社員の岡田さんは、65歳まで仕事を続けようと思っている。()
 - ② 自営業の加山さんの店は開店したが、休みの日が多い。()
 - ③ 加山さんはもともとそばを食べるのが好きだったので、そば屋を始めた。()
 - ④ 松下さんのご主人は朝早くから野菜作りをするため、朝食を抜くことが多い。()
 - ⑤ 松下さんは以前から、ご主人といっしょに野菜作りをしたいと思っていた。()
- (2) ①～③の質問に答え、例のように本文の内容を下の表にまとめなさい。

	① 今何をしているか。	② なぜやりがいがあるか。	③ 今の生活についてどう思っているか。
岡田	【例】定年退職した後、会社の再雇用制度を利用して嘱託社員として仕事をしています。		
加山			
松下			

2. () に当てはまる表現を から選び、書きなさい。

- (1) 大学4年生 (), 就職活動や卒業論文作成などで毎日忙しい日々を過ごしている。
- (2) 社長 (), 社員は1人しかいないので、何から何まで自分でしなければならない。
- (3) 彼の引っ越し先は、友達 (), 両親にも知らされていない。
- (4) 考え (), 今回の失敗から新しい発見があるかもしれない。
- (5) ここに来るたびに子供時代のことが思い出され ()。

ともなると ようによっては とはいえ はおろか てならない

3. から適切な表現を選び、() 内の動詞と組み合わせて、文を完成しなさい。

- (1) 転勤することになったので、(買う →) 家売ることにした。
- (2) 今から (連絡する →), おそらく間に合わないだろう。

- (3) 今まで信用していた友達に裏切られて、こんなに（腹が立つ → ）。
- (4) 給料が今より（減る → ）ので、やりがいのある仕事をしたいと考えている。
- (5) 大学を卒業後、彼は家族の（期待する → ），一流企業の内定を断って、海外にボランティア活動に行ってしまった。

て間もない ことはありません てもかまわない をよそに ても

4. 録音を聞いて下線部を埋め、会話の練習をしなさい。

母: お父さんは最近ね、あれよ。

娘: あれって、なあに?

母: 地域に_____っていうのがあってね、すっかり_____にはまってるの。


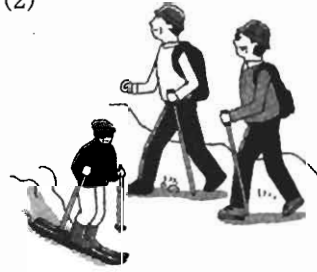

娘: へえ。

母: 定年まで_____こともなかったのに、今じゃあ、_____のよ。信じられないわ。

父: 信じられないってことないだろう。それに最近はね、_____んだよ。

娘: お父さん、すごい。すっかり変わったね。

5. 4の会話をもとに、(1) ~ (3) のカードを参考にしてそれぞれ会話を作りなさい。

<p>(1)</p>  <p>料理教室 / 料理 / 料理する / 毎日晚ご飯を作ってくれる / パン作りをする</p>	<p>(2)</p>  <p>登山同好会 / 登山 / 山に登る / 近くの山はほとんど登った / スキーを始める</p>	<p>(3)</p>  <p>韓国料理同好会 / 韓国料理 / 韓国料理を食べる / よく 韓国料理を食べに行く / 韓国語を習う</p>
--	---	--

6. 不適切な部分に下線を引き、適切な形に直しなさい。

- (1) ラジオから朝7時の新聞が流れている。
- (2) わたしの父は退社してから、よく旅行に行っています。
- (3) うちの子供は目をかければかけるほど、親の期待に応えてくれた。
- (4) これまでの仕事の中で培養した知識や経験を生かして、転職したいと思っている。
- (5) 自分のお店を持つことをずっと楽しみにしました。
- (6) お客さんからの注文がたくさん入れたので、今日は1日中忙しかった。

7. あなたは雑誌記者として、「定年後の人生」というテーマでインタビューをしました。次は、その時のメモです。本文を参考に、メモをもとにした雑誌記事を作りなさい。

インタビューメモ

佐々木 清正 さん

- ・元高校教員，おとしし定年退職，現在塾経営（不登校の子供のため）
- ・現役時代 → 厳しい先生，自分に厳しく，人に厳しい → 生徒が怖がる
- ・現在 → 優しい先生だと子供が言う
- ・現役時代の生活 → 本当に忙しかった
- ・今の生活（塾経営） → 時間の使い方に余裕ができる → 気持ちがゆったり → 人に優しく接することができるようになった

厳しい先生が優しい先生に変身？！

佐々木さんは，① _____。
 現役時代は，② _____，今は，塾に通う子供に，③ _____。現役時代の生活は，④ _____。仕事をきちんとしないと気が済まない佐々木さんは，自分に厳しく，また人にも厳しかったそうだ。しかし，退職して，自分で塾を経営してみると，⑤ _____。定年後はこうなりたいと思ういいお手本である。



8. 本文を参考に、次の投書を日本語に翻訳しなさい。

老年冲浪者

无职业 山田 良男
 侨居泰国芭堤雅 62岁

在金融机构工作了30多年，60岁上迎来了退休。自年轻时起就把冲浪运动作为业余爱好的我，一直钟情过去曾为参加冲浪大赛来过的泰国。退休后也来过几次，在这过程中定了心思要在这里住下来。泰国医疗条件好，物价便宜，加上气候温暖，是宜于上年纪人居住的好地方。芭堤雅是著名的度假胜地，有不少日本游客，懂日语的导游也很多，语言上也没有什么不方便。我这个老年冲浪者，今天仍然夹在年轻人队伍里，精力充沛地在逐波踏浪。

<关键词>

老年(熟年) じゆくねん	冲浪者(サーファー)	芭堤雅(パタヤ)
侨居……(～在住)	金融机构(金融機関)	冲浪运动(サーフィン)
……的过程中(～うちに)	医疗条件好(医療が充実している)	
度假胜地(リゾート地)	夹在……队伍里(～に混じる)	
逐波踏浪(波乗りする)		

新出語彙4

おそろく [副] 恐怕, 大概

かせん (下線) [名] 下线

どうこうかい (同好会) [名]

兴趣相投者组成的团体

きよまさ (清正) [专] 清正

ふどうこう (不登校) [名] 不上学, 不愿上学

こわがる (怖がる) [动1自] 怕, 害怕

せつする (接～) [名・サ变自] 接触, 连接

へんしん (变身) [名・サ变自]

化为……, 改变装束

てほん (手本) 模范; 字帖

とうしょ (投書) [名] 投稿

よしお (良男) [专] 良男

じゆくねん (熟年) [名] 中老年

サーファー [名] 冲浪运动员

パタヤ [专] 芭堤雅

ざいじゅう (在住) [名] 侨居在, 居住

サーフィン [名] 冲浪运动

リゾートち (～地) [名] 休养地, 娱乐地

まじる (混じる) [动1自]

混杂, 加入, 夹, 交往

なみのりする (波乗り～) [名・サ变自]

逐波踏浪

きがすむ (気が済む)

(因了却心事而)心安理得; 舒心

【聴解】

はなす (離す) [动1他] 放开, 撒开